

SHIMONOSEKI MEDICAL CENTER

“看護の力”を信じられる人を育てたい。

HOSPITAL

SHIMONOSEKI MEDICAL CENTER

看護部長のご挨拶

“看護の力”を 信じられる人を育てたい。

JCHOは超高齢化社会において、医療・介護・生活支援まで「包括ケア」を求める国民ニーズに
応えることを使命としています。下関医療センターは、高齢化率の高いこの地域の中核を担う総
合病院として急性期病院に、健康管理センター・介護老人保健施設・訪問看護ステーションを併
設し、「切れ目のない医療・看護」のサービス提供をめざしています。働く場としても、幅広い看護
経験が積めるのでキャリア志向に応じた成長・活躍の場があります。急性期病院では観察力・判
断力・スキルを磨き、介護老人保健施設では在宅移行期を学び、訪問看護ステーションでは施設
外で安心して療養できるように支える対応力を身に着け、活躍しています。自分のキャリアやライ
フスタイルに応じて、働く場所を選択していただきたいです。そして、あなたらしさを存分に生か
し、あなたの目指す看護を实践することで日々、人として大きく豊かになってもらいたいと願っ
ています。そんなみなさん一人ひとりが看護部の“宝物”です。



看護部の理念・目標

人々の人権を尊重し、 信頼される優しい看護・介護を めざします。

「人権尊重」「信頼」「やさしさ」の3つがキーワードです。より良く生きたいという患者さん
の思いに添い、確かな知識に基づいた説明と同意を得て、優しく丁寧なケアの実践を
めざしています。



人権尊重について

患者さんの尊厳を守り、
生きる力・希望を支えます。

信頼について

“看護の力”を信じて
実践できる人を育てます。

やさしさについて

笑顔で安心感を与えられる看護を实践します。

私たちはこんな病院です

数字でわかる下関医療センター

病院の歴史

創立 **70** 周年



1950年創立

充実した研修

新人看護職員卒後臨床研修

年間 **20** 日

勤務時間内の集合研修



その都度4月に就職した仲間と顔を合わせて、悩みの共有をしたりお互いの成長を確かめあうことができる

細やかな新人指導



■4月の新人看護師採用

20 名前後

同部署に新人複数人配置
シャドウ研修やベンギン研修、その後パートナーシップによる教育体制で安心して学び、働くことができる

選べる夜勤勤務体制

2交代 **3**交代



看護師宿舎完備

16,100 円/月



車通勤OK

便利なアクセス

駐車場完備
病院駐車場代 2,500円/月
宿舎駐車場代 3,000円/月

最寄りのバス停から徒歩1分

認定看護師数

7分野 **8** 名



(がん性疼痛看護、がん化学療法看護、皮膚・排泄ケア、糖尿病看護、集中ケア、感染管理、訪問看護)

認定看護管理者 **3** 名

特定行為看護師 **7** 名

(研修受講中)

色々な働く場所

一般急性期、地域包括ケア病棟、
HCU・救急外来、血液浄化センター、
地域連携部、健康管理センター、
老人介護保健施設、
訪問看護ステーションなど



年間公休 **125** 日

+
夏期休暇 **3** 日

+
年休取得平均日数 **9** 日



(2019年実績)

プリセプター制度

“その存在”が私の成長につながる



2019年入職
内田 彩花さん
Uchida Ayaka



2017年入職
藤原 美紗さん
Fujiwara Misa

Q1 現在の職場で魅力を感じる部分を教えてください

藤原さん: 急性期を中心に退院支援・継続看護など多岐にわたる領域を担っている病院のため、多くの経験を積むことができます。患者さんやご家族の思いに添えるような看護をめざすことに、やりがいと魅力を感じています。

内田さん: 実習中私たち学生に対しても優しく、丁寧に教えていただいたことを今でも覚えています。それは入職した今も変わらず、「職場の雰囲気が良いな」と感じる事が多々あります。また人間関係だけでなく福利厚生が充実していることも魅力に感じています。

Q2 プリセプター制度があっよかったと思うエピソードを教えてください

藤原さん: 初めは人を指導することに苦手意識がありドキドキしていましたが、教えていく過程で、知識や技術を再確認するための自己学習や復習の機会が増えました。そのおかげでより深く業務を理解することができ自身の成長にもつながっています。

内田さん: プリセプターの藤原さんは自分にとって、やさしい先輩というだけでなく、時には厳しく接して下さるので、とても頼りになる存在です。私へ指導をしながらも、患者さんに対しては変わらず丁寧にテキパキ業務を行う姿に憧れており、私の目標です！

Q3 今後の内田さんの活躍について一言お願いします！

藤原さん: 「現場でしか学べない細かなこともしっかり教える」ということを大切にしてきました。壁を乗り越え、日々成長している姿を見るととても嬉しく思います。内田さんには、患者さんに安心感を与えるような看護師へ成長して欲しいです。

Q4 内田さん、今後の意気込みをどうぞ！

内田さん: 現在はプリセプターの指導のおかげもあり、ひとりでできることが増えてきました。常にひとりの“人”として患者さんに関わることを心掛けたいです。そして、自分の仕事だけでなく、周りにも気が配れるよう頑張っていきます！

- プリセプター制度とは -



一人の先輩看護師(プリセプター)がある一定の期間、一人の新人看護師(プリセプティ)に対して、マンツーマンで臨床実践を指導する方法です。新人看護師のリアリティショックを緩和し、看護実践能力の獲得を支援する教育体制として導入しています。

知識を**知力**として幅広く生かせる看護師

#01

日々の努力すべては 患者さんの安心のために

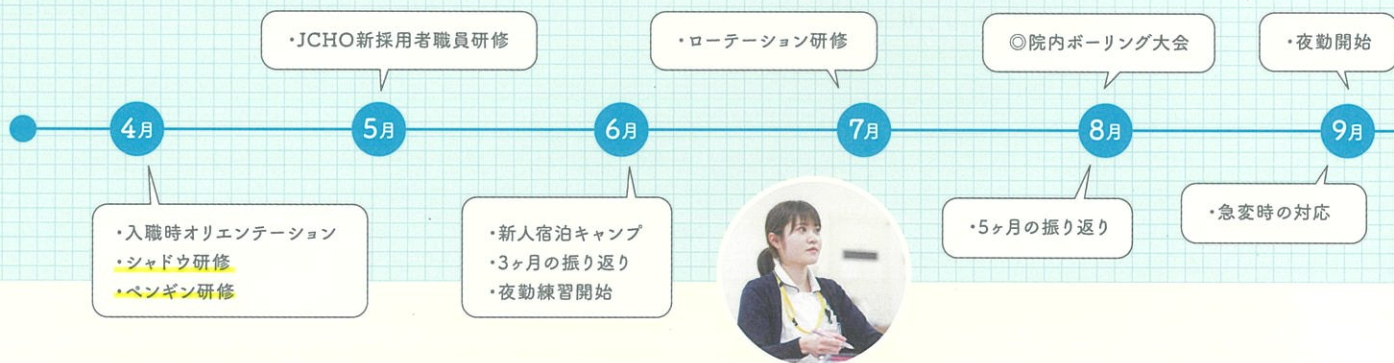
HCUでは診療科を問わず術後や重症管理を必要とする患者さんが入室します。だからこそ、患者さんやご家族の方に「看護師さんに任せておけば安心だ」と思ってもらいたい—そんな想いで、専門職としての高い知識と看護技術のもと良質な医療・看護ケアの提供ができるよう、自己研鑽に努めています。一番苦しかった治療の時期を知っているからこそ、その後の患者さんの元気な姿を見ることがやりがいにつながります。

2014年入職
Ito Keisuke

伊藤 景亮さん



“看護の力”を磨くキャリアアップへの道!



Pick Up

シャドウ研修



仕事をする指導者に新人が影のように従って学ぶのがシャドウ研修です。単なる看護技術の練習ではなく、患者さんとの接し方や時間配分も含めた「仕事としての看護」をリアルタイムで体感できます。現場をつかむのにも有効です。

ペンギン研修



複数の新人が一人の指導者につき、基本的なことから段階的に教育を受けます。新人たちは、まさにリーダーについていくペンギン。同じレベルの仲間たちと学びあい、育ちあえるのは心強く、その後の人間関係づくりに役立ちます。

看護の現場は日々学びの連続です。下関医療センターで働く看護師は、“看護師としての責任・喜び・やりがい”を自身の成長につなげ活躍しています。

#02



一人でも多くの患者さんの心と体の支えになりたい

脳神経外科・内科病棟では麻痺のある患者さんが多くいます。常に状態変化に気が付けるよう、日々の介助を通じて患者さんに安心して入院生活を送っていただけるよう心掛けています。以前、リハビリのため転院した車椅子の患者さんがわざわざ会いに来てくださり、ご自身の足で元気に歩く姿を見せていただいたときは本当に感動しました。これからも患者さんやそのご家族との関わりを大切に、元気になるまでの援助や看護を、一人でも多くの方に行っていきたいです。

2009年入職
Shibata Yukari

柴田 由佳里さん



◎院内新年会

・1年の振り返り

10月

11月

12月

1月

2月

3月

・様々な実技研修

◎院内バレーボール大会
◎TQM発表会

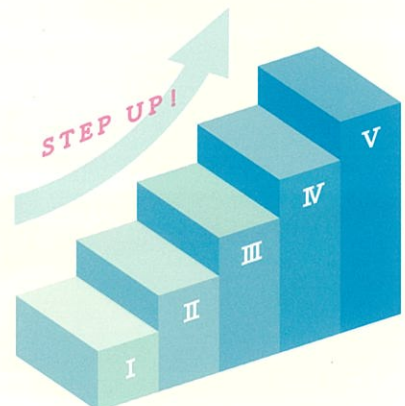
・事例研究のまとめ方



■ラダー制度について

JCHO看護師キャリアラダーは、多様な機能をもつ公的病院グループであるJCHOで勤務する看護職の能力開発及び個人の目指すキャリア発達を支援するツールです。その特徴は看護実践能力以外にJCHOの看護職に求める能力を、組織的役割遂行能力、自己教育・研究能力で構成し、キャリアラダーとして示しています。ラダーI～Vまでの段階に応じて年間教育プログラムを作成し、院内研修のみならず院外研修やオンデマンドを活用して看護職員継続的な能力開発に努めています。

- レベル V 専門性を発揮し、看護チームの管理、教育的役割モデルとなる
- レベル IV 看護チームリーダーとしてリーダーシップを発揮する
- レベル III 日々の看護業務リーダーとして役割を遂行する
- レベル II チームメンバーとして主体的に行動できる
- レベル I 基本的看護技術を身に付け、社会人として組織としてのルールを身に着ける



自分らしさで 自分らしい看護を。

それぞれの立場、それぞれの場所で一人ひとりが
自身の能力を最大限に生かし、自分らしく輝い
ています。



地域と生きる

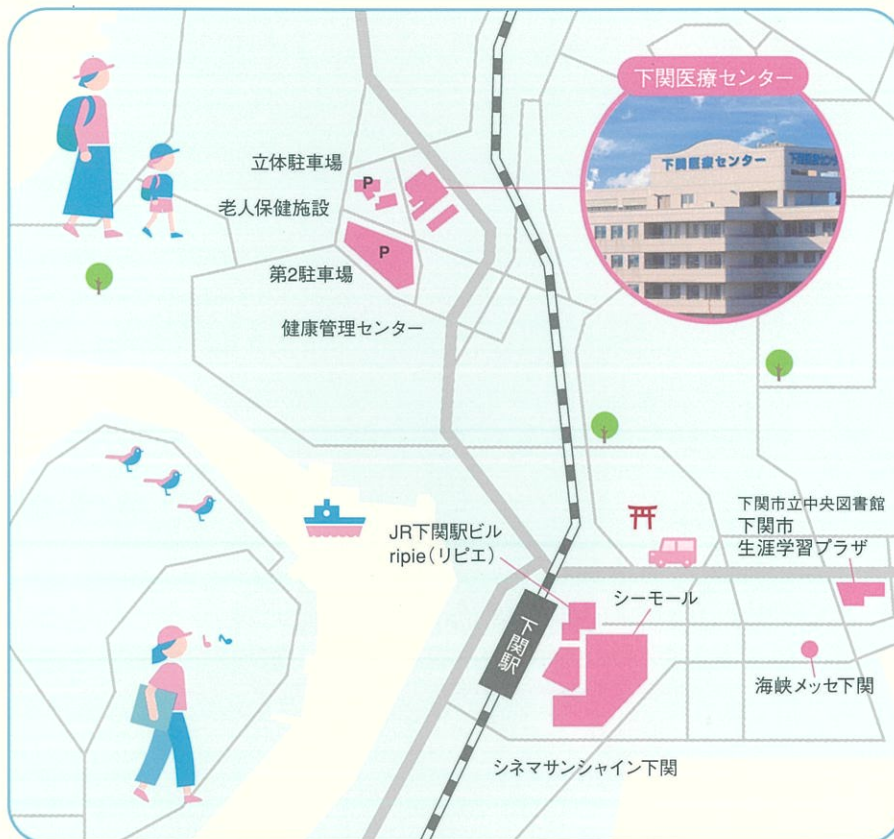


当院に興味を持った方はこちらから

詳しくは病院ホームページをご覧ください
URL: <https://shimonoseki.jcho.go.jp>



ACCESS MAP



独立行政法人 地域医療機能推進機構

下関医療センター

〒750-0061 山口県下関市上新地町三丁目3番8号

電話番号: 083-231-5811 (代表)

<https://shimonoseki.jcho.go.jp>